



〒954-0052

見附市学校町2-7-9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和2年6月23日 NO.3

水道山公園「あじさい」



目の前に、可愛い傘がありまして…

学校教育課 課長補佐 荳澤 毅夫

水道山公園のあじさいの花が、きれいに咲く季節となりました。この文章の上の写真も、実に見事なものです。街の中も、色とりどりの花が咲き、徒歩通勤をしている私にとって、とても楽しい時季となりました。

毎日テレビの天気予報や実際の空模様を見て、傘が必要かを判断し、さて出発、という段取りの私。ある日の天気予報では、「午後から雨の確率40%、傘が必要？」というものでした。しかし、外は雲一つない晴天。「今日は傘、不要だな。」と、判断し玄関を出ました。

「この家の庭、すごいなあ。」感心しながら、歩を進め市役所庁舎まであと300m。歩道に何やら落ちていました。ピンク色のとても小さい傘でした。開いてみると、軸が少々斜めに曲がり、ところどころ錆も浮いています。描かれたイラストは、可愛いお姫様のキャラクター。落ちていたときはうまくまとめられていませんでしたが、大人の私がまとめてみると、とてもきれいに仕舞うことができました。名前は書いてありませんが、まだまだ現役の傘でした。

この傘は「これがいい！」と持ち主が自分で決めたかもしれないし、親や祖父母、親戚が「あの子はお姫様が大好きだから」と選んだのかもしれない。まとめられていない状況から、保護者に「自分でするんだよ」と言われ、小さな手でくるくると精一杯まとめたのかもしれない。また、晴天の中「後で雨が降るから傘持っていきなさい」と言われ、ランドセルの脇にかけて出発したものの、低学年ゆえ、登校班の歩みについていけず、走った矢先に落ちてしまったのか、そもそも小学生ではなく、近くの保育園や幼稚園に通う子のものなのか。はたして傘は主の手元に戻ったのでしょうか…

「この学習では、あの子にはこの教材」や「あの保護者は誰も話を聞く人がいないかも」と、授業づくりや生徒指導、保護者対応等全てに「想像すること」が必要です。そのために、日々子どもの様子を記録し、対応を考えることが大切なのではないでしょうか。

日々の健康観察や三密回避など、たくさんのことに心を砕いておられる皆様に、心より感謝申し上げます。

巻頭写真に寄せて ー観音山・水道山公園のあじさいー



◇6月初め、鎌倉にある長谷寺の見事なあじさいがテレビで放映されました。「水道山のあじさいも見頃か」と出かけたところ、まだ小さな黄緑色でした。その後、何度も足を運んで最高の時を待ちました。なぜなら、巻頭言の冒頭で「あじさい」について触れられているからです。プレッシャーの中撮影したのが、表紙の写真（16日）です。とても美しく存在感のある水色の大輪や、淡い紫色の株、菱形のかわいい装飾花（がく）の株。それらが、斜面一面に美しい世界を創っていました。

◇ここは、以前「観音山スキー場」と呼ばれ、冬の子どもの遊び場だったそうです。その後、地域住民の熱意と行政の力で「あじさいの咲き誇る公園」に生まれ変わったとのこと。あじさいに囲まれたベンチから、花を楽しむ、粟ヶ岳や守門岳を望む…最高です。

コラム1・・・「師がく」始まる

◇師がく訪問の初日、M小6年生の算数を参観しました。昼休み後の5限の授業。早めに教室へ向かうと、担任のN先生のさわやかな挨拶に続き、子どもたちの元気な「こんにちは」。入室すると「さあ、始めようか」とN先生。ところが、時計に目をやり「ちょっと早いか。K先生(私)への質問タイムにします。質問のある人?」。戸惑う私に関係なく、子どもは「ハイハイ!」と元気よく挙手。指名される前なのに、H君が私の前に来て「どうして家に帰ると『ただいま』っていうんですか?」私が「はあ?何だ?」と思っていると、続けて「どうして『お帰り』っていうんですか?」さらに、他の子どもから「身長は何センチ?」「誕生日はいつ?」と矢継ぎ早の質問攻め。N先生は、何も言わずにニコニコしながら、私と子どもたちのやり取りを見ていました。「誕生日」の話で、N先生はご自身の話をされ、子どもを私(K)から自分の土俵に戻し、「今日(の算数)は、何をやるんだった?」と授業に入られました。流石です!

◇分数のかけ算3時間目「真分数×仮分数」の授業。子どもたちの「N先生との授業が楽しくて仕方ない」が溢れた1時間でした。N先生は力のある教師です。「先生方の授業の手助けや支援をしたい」と訪問する師がくですが、この回のように、一方的に私が学ぶこともたくさんです。授業レベルの高い、見附市の先生方に感謝です。



鬼ごっここの子どもたち

コラム2・・・北村一男氏(見附市名誉市民)の生家跡を訪ねる

◇見附市杉沢町生まれで、新潟県知事になった人がいます。北村一男(1897-1965)です。見附第二小学校にある北村氏の力強い書を見る度、生家を訪ねたいと思っていましたが、ようやく行くことができました。既に家屋は無く、跡地は北村記念公園となっていました。普段は手入れがされているのですが、この日は雑草が目立ち、芭蕉の「夏草や兵どもが夢の跡」を思い出しました。その中に、いかにも政治家という氏の銅像(右写真)があり、感動をしました。なぜなら、私の誕生時の県知事が、北村氏(在職S30年-S36年)だったからです。皆さんは、自分が生まれた時の総理大臣や県知事に興味はないでしょうか。また、「県知事は選挙で選ばれる」を当たり前と思っていると拝察します。ですが、公選は、戦後(S22年)からで、昭和22年から岡田正平氏が、2期8年県知事を務めました。3選を目指して臨んだ、昭和30年の知事選に、北村氏が出馬し勝利。新潟県知事となりました。見附市には、すごい人が多くいます。(こ)



4時から夢塾 — 「起業体験学習」の意義を熱く伝える—

第5回「4時から夢塾」を6月3日(水)、見附市立西中学校の小堺和也校長先生から「地域貢献と学校の在り方」をテーマに、西中学校(現任校)と、以前勤務した長岡市立小国中学校で取り組まれた実際の活動を、映像を通してながら、講話を頂きました。内容を簡単に紹介します。



小堺 和也 校長先生

1 西中学校の活動 (昨年度のもの)

- ① 「起業体験学習」…3年生106名が六つの会社を起業して、「見附子育て教育の日」に、ネーブルみつけに出店をした。…この活動で3年生が大きく成長した。
- ② 「ボランティア部」…「一六市場」への出店とスタッフ参加、葛巻フェスティバルでのブースの運営。…人のために何かする「西中道」で、20数名の部員がいる。
- ③ 新「ひまわりリレー」活動…生徒が役割分担をして「ひまわり」を育て、地域に設置するもの。…令和2年度 of 取組で、育てたひまわりを通学路に並べ見てもらう。

2 長岡市立小国中学校の活動…平成27年度、文部科学大臣賞の「奨励賞」を受賞。

- ① 「小国カンパニー」…会社運営形式による地域貢献活動
 - ・小国(町)の将来を担う人材の育成。総合学習で毎週行った活動。
- ② 「小国地域紹介DVD制作」…ケーブルTVで紹介
 - ・小堺和也先生が10年前に、このプロモーションビデオを制作した。

3 地域貢献の意義「なぜ、地域貢献が必要とされるのか」の四つの視点

- ◎ 持続可能な地域(市町村)の未来を担う子どもたちの育成
 - ・成人した子どもたちが地域に残り、魅力的なまちづくりをするための契機となること。…活動を継続して欲しい。
- 「地域とともに歩む学校づくり」の中核的取組のひとつ
 - ・学校の地域に対するオープンな姿勢を示す、最もわかりやすく、最も効果的な手段であること。…学校の立場として。
- 子どもたちの心の成長(視野を広げ、地域の一員としての意識の向上)
 - ・大人との交流で「大人」になること。将来の夢や目標に向けた生き方学習そのもの。
- 教職員の意識の向上
 - ・持続可能な地域の未来を支える人材の育成に関わる使命感に気づくこと。
 - ・地域の方と交流し、地域を知ること、職員の視野が広がり、まちづくりについて意識が向くこと。



4 まとめ

派遣社会教育主事として、学校を外から見られたことが大きい。学校はあまり地域に出ていない。学校は独自の文化が強すぎる。「子どもたちは将来、その地域を支える人材だ。」の意識で、地域教育活動を「地域の皆さんと考えていかない」といけない。

- 〈参加者の声〉** ・地域との連携を大切にされた実践の数々、大変参考になった。
- ・地域に目を向ける大切さを感じた。私が地域を学び知り、教育活動に生かしたい。
 - ・地域貢献活動は目的と手段で、その先に職業観や勤労観を育むキャリア教育がある。
 - ・未来を支える人材を育てる、我々の使命の話…責任の重大さに気づかせて頂いた。



6月

科学教育部



【7・8月の研修案内】

《今月の1枚》 部分日食
※太陽望遠鏡で撮影

6月から予定通りの研修会を実施することができています。7月の研修会では児童が天体に興味をもって、夏休みに観察ができるように「天体研修会」を実施します。また、複数の学校に「薬品支援研修」「基礎技能研修会」「科学クラブ」等で訪問します。通常通りの活動がある程度保障され、科学の活動ができることは大変喜ばしいと思っています。また7月末に夏休みに入ってから実施予定であった研修会は、8月夏休みに入ってからすぐに実施します。2学期に活用できる内容にしたいと思いますので、ぜひ多くの方の参加をお待ちしております。

1	天体を学ぶ	7月2日(木) 15:40~16:40	小学校で学ぶ天体の学習について観察のやり方やモデル学習について研修を行います。また、授業で活用できるシミュレーションソフトやアプリを紹介します。
2	中学年 2学期準備講座	8月3日(月) 13:30~15:00	2学期に中学年(小学校3・4年生)と高学年(小学校5・6年生)で行う実験のポイントを含めて予備実験を行います。準備や実験をスムーズに行い、負担感を減らせる方法を紹介します。
3	高学年 2学期準備講座	8月4日(火) 13:30~15:00	研修で行う実験以外にも、2学期以降の内容について、予備実験を行いたいものがあれば、可能な限り対応します。

【今月の研修紹介】

「葛巻小学校の植物」 6月2日(火)

今年度の植物観察会は葛巻小学校を会場に行いました。地域の方との交流の場所にもなっている「くずまきの森」で、子どもたちが元気よく遊ぶ姿が見られます。参加者が興味のある葉を集め、その植物について講師である上越教育大学 五百川裕 教授から、植物のママ知識や面白さを紹介して頂きました。子どもたちと葉を使って、植物の魅力について語ってください。



参加者が集めた葉について、解説してもらいました

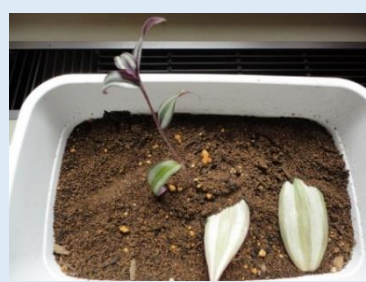
科学の公園

植物の気孔の観察に適したツユクサの仲間～「ゼブリナ」の活用～

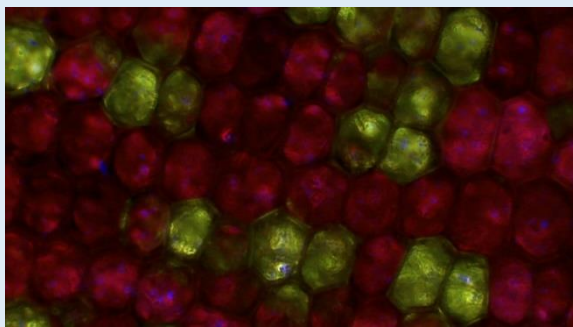
6年生の理科の学習や中学校での学習で、植物の葉の気孔について観察します。顕微鏡で観察すると感動と驚きがあります。子どもたちは「くちびるみたいだ！」と声をあげます。この観察には、ツユクサの仲間の植物の葉が使われることが多いです。ツユクサは朝咲いて昼にはしぼむことで、朝露を想起させることが由来といわれます。6月～9月に花を咲かせますが、花の時期でないと見つけるのが難しいです。当センターでは、ツユクサの仲間である「ゼブリナ」「ウエディングベール」という植物を一年通して育てています。「ウエディングベール」は、ホームセンターでも購入することができます。今回紹介したいのが、「ゼブリナ」の活用です。「ゼブリナ」は葉が多肉で、そのまま顕微鏡のステージにのせるだけで気孔が観察できます。表皮を剥がす作業を省くことができます。また、気孔は葉の裏側に多いので、顕微鏡の上で葉をひっくり返すだけで、違いを比較できます。そして、この植物がさらにすごいのが、葉や枝を挿し木するだけで、株分けができることです。当センターにありますので、各学校で育ててみてはいかがでしょうか？紫色の観察だけでもきれいです♪



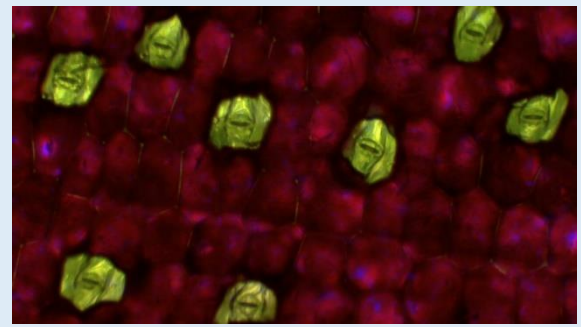
ゼブリナの葉



葉を植えて殖えました



葉の表側



葉の裏側

授業でのスマホやタブレット端末の機能活用



科学クラブで人気のペットボトルロケットの運動の様子について分析しました！

中学校3年生で「物体の運動」の学習をしています。物体の運動を分析するには、アプリ「モーションキャプチャ」を使うと便利です。物体が運動している様子を等間隔で撮影し、画像を合成してくれます。今のデジタル機器には、スローモーション撮影や連続撮影などたくさんの機能があります。理科だけでなく、体育や部活動でも活用できます。跳び箱での自分の動きを確認したり、ボールの軌道を確認したりすることができます。一人一台端末が入ると、児童・生徒が主体的に動画分析などの学習に取り組むことにつながります。さらなる学習の可能性が広がりますね。



アプリ「モーションキャプチャ」を使ってボールの動きを分析